第19回　定　期　総　会

日　時　　令和４年　５月３１日（火）午前１０時００分～

場　所　　豊富町定住支援センター「ふらっと★きた」

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

第19回　定　期　総　会　次　第

１．開会
２．出欠報告
３．代表理事挨拶
４．議長選出
５．議事録署名人選任
６．議事

議案第１号　　令和３年度事業報告及び活動決算について
　　監査報告について
議案第２号　　令和４年度事業計画（案）及び活動予算（案）について

議案第３号　　その他について

７．議長退任

８．閉会

議案第１号

令和３年度事業報告及び活動決算について

令和３年度事業報告及び活動決算について
別紙の通り報告致します。

令和３年度NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク活動日程一覧（抜粋）

（令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで）

4月13日	湿原センター冬囲い撤去作業
4月15日	チュウヒ報告会調査
4月17日	ガンカモ類一斉調査
4月24日	稚咲内海岸清掃
4月27日	湿原センターVR展示内覧会
5月7日	北海道春のクリーン作戦
5月12日	タンチョウドローン調査
5月15日	理事会
5月17日	シマアオジ調査
5月21日	湿原センター園地除草作業
5月27日	チュウヒ繁殖情報提供
5月31日	総会・理事会
6月1日	第1回バックヤードツアー（全30回）
6月19日	なまらサロベツクラブ 湿原観察会
6月29日	豊富中学校出前講座
7月2日	豊富小学校放課後チャレンジ教室
7月3日	ジュニアパークレンジャー 夏の湿地散策
7月14日	豊富小学校総合学習
7月18日	パークボランティア 外来種駆除
7月28～29日	なまサロキャンプ
8月6日	こうほね沼コウホネ移植調査
8月11日	湿原センター木道補修作業
8月19日	郷土資料整理作業
8月25日	砂丘林除草作業
8月26日	豊富小学校総合学習
8月28日	外来種除去作業

10月14日	豊富温泉活性化事業 秋の自然公園紅葉ツアー
10月15日	フライウェイパートナーシップ登録式
10月16日	ONSENガストロノミーツアー
10月23日	なまサロ 海岸ゴミとマイクロプラスチックの勉強会
10月23～24日	豊富町文化祭展示
10月28日	チュウヒ報告会
10月30日	タンチョウ発信機装着調査
11月3日	どんグリーン～砂丘林ミズナラ植樹
11月3日	なまサロ どんぐりを蒔こう
11月5日	秋期間大学生サブレンジャー受入れ開始
11月10日	豊富小学校総合学習
11月10日	東アジア鳥類学会オンライン シマアオジ発表
11月16日	環境省風発現地視察
11月20日	豊富温泉活性化事業 ワシ観察バスツアー
12月1～27日	エコモーDAY展示
12月6日	北海道開発局パートナーシップ会議
12月10日	河川ゴミ調査
12月12日	風発勉強会
12月18日	ペンケ沼報告会
1月5日	北海道新聞タンチョウ取材
1月6日	宗谷総合振興局チュウヒ打合せ
1月15日	シマアオジ報告会
1月16日	円山スノーシューガイド
1月21日	豊富小学校チャレンジクラブ 雪あそび
2月5日	ジュニアパークレンジャー 冬の森林探索
2月6日	冬期間大学生サブレンジャー受入れ開始
2月11日	豊富温泉活性化事業 スノーシューガイドツアー
2月12日	なまサロ　海洋プラスチック問題オンラインサミット
2月23日	タンチョウ報告会
3月15日	経団連活動タンチョウ報告会
3月22日	風発意見書提出
3月25日	豊富温泉活性化協議会

事業分類	事業名	事業内容
自然再生	稚咲内砂丘林 再生(町有林)	国立公園特別保護地区内において、ミズナラの森林(町有林)再生に向け、地域の方と一緒に苗畑の除草などの日常的な維持管理作業を行ったほか、秋に植樹イベントを実施し、230本の植樹を行いました。
	稚咲内海岸清掃	国立公園の稚咲内海岸に散乱している漂着ゴミ約2230kgを回収し、国立公園の美化に貢献しました。
	外来植物防除対策	国立公園内のオオハンゴンソウ(特定外来生物)などの外来種除去作業や周辺に広がっていないかどうか巡視を行いました。また、稚咲内砂丘林縁部は過去に多くのオオハンゴンソウが発見されているため、重点的に除去活動を行いました。
	稚咲内砂丘林 再生(国有林)	国有林の調査区画において、エゾシカの食害調査、木々の計測等を実施した他、ミズナラ苗木の植樹などを行いました。
	コウホネ沼 保全対策業務	2020年に移植したネムロコウホネのモニタリング調査及び移植元となる沼の調査を実施し、有識者ヒアリング及び助言のもと移植作業を行いました。
	サロベツ湿原緩衝帯 モニタリング	6カ所の緩衝帯の調査を行いました。調査はドローンを使用して上空から行い、破損個所等をとりまとめ、報告しました。
動植物調査	チュウヒ 調査・普及啓発 (日本野鳥の会)	チュウヒの繁殖状況調査を実施し、チュウヒの保全に向けたTシャツを作成し、地域住民へ普及啓発活動を行いました。
	チュウヒ調査 普及啓発 (環境省)	サロベツの国立公園周辺でチュウヒの繁殖調査を実施しました。秋には豊富町内で報告会を開催しました。
	シマアオジ 分布調査 (環境省)	シマアオジの生息地の繁殖状況調査、生息環境改善のために繁殖地に侵入したササの試験的除去を行いました。また報告会を開催し、シマアオジの国際的な状況も含め、危機的な状況を幅広く普及啓発を行いました。
	シマアオジ 分布調査 (日本野鳥の会)	シマアオジの生息地の繁殖状況調査を実施し、シマアオジ野鳥保護区における鳥類の生息状況を把握しました。
	タンチョウ調査 (環境省)	サロベツ湿原においてドローンを用いたタンチョウ繁殖状況を調査し、同湿原内におけるタンチョウの繁殖状況を把握しました。
	タンチョウ調査 (助成金)	北海道宗谷地方全域でドローンを使用して陸上からは発見が困難なタンチョウの巣や姿を探索し、繁殖状況の調査を行いました。秋に4羽捕獲し、足環、発信機を装着し、渡り経路を把握しました。講師2名による勉強会を開催しました。
	ガンカモ調査	ガンカモのモニタリングサイト1000に登録されている兜沼、ペンケ沼、振老沼(天塩町)でねぐら調査を春と秋に行い、種と個体数を数えました。
	ペンケ沼調査	ペンケ沼における水鳥・水深・面積調査等を行い、流入河川のゴミ調査を行い水鳥の中継地としてのペンケ沼の実態を把握しました。冬には豊富町で報告会を行いました。
	風力発電勉強会	風力発電事業による影響を関係者や地域の方々に伝えるための勉強会を講師を招いて冬に豊富町で開催しました。
	風力発電対応	周辺で計画されている風力発電計画に関する環境影響図書に対して景観や動植物への影響に関する意見書の作成、協議会の参加、情報収集を行いました。

事業分類	事業名	事業内容
環境教育	高校生 サブレンジャー	8月から12月までの期間に豊富高校生6名にサロベツ湿原センターで展示物製作、サロベツにおける動植物等自然情報の収集及び保全活動、館内管理を行ってもらいました。
	ジュニア パークレンジャー	地域の子ども達を対象に、自然保護の大切さや自然とのつきあい方、自然に対する思いやりなど、子どもの豊かな人間性を育むことを目的として国立公園での自然体験や環境学習会を実施しました。
	なまら サロベツクラブ	地域との交流を通して、人・地域・自然を愛する心を養い、サロベツはもとより幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーの育成を目指すことを目的に地域の子ども達を対象に、四季を通じてサロベツの自然を体験する活動を行いました。
	インターンシップ等	サロベツに来るインターンシップの大学生を受け入れました。
地域活性化	豊富町郷土資料室 資料整理	豊富町内の郷土資料を把握し、整理作業を行うと共に、今後に向けての保管・展示方針を検討しました。その他、資料室の移転作業後のデータの取りまとめを行いました。
	豊富温泉活性化 ツアー	湯治客や一般向けの定期体験プログラムとして豊富自然公園散策・ワシ観察会・ガンカモ観察会、温泉周辺で冬にスノーシュー散策をしました。
	国立公園誘客事業	温泉フットパスプログラム、パンケ沼・ペンケ沼でカヤックプログラムをそれぞれ企画し、実施しました。
施設維持管理等	サロベツ湿原センター管理運営・案内解説	サロベツ湿原センターの施設管理作業（館内清掃・展示物作成・施錠等）や、サロベツ湿原センターを訪れた方にサロベツ地域の自然情報提供、周辺の観光案内などを行いました。
	サロベツ湿原センタートイレ清掃・園地草刈	サロベツ湿原センターのトイレ清掃と園地草刈を行いました。
	サロベツ湿原センター 木道維持管理 自然再生協議会 普及活動推進 大学生サブレンジャー	国立公園内の木道の破損箇所の補修等を行い維持管理をしました。 自然再生の普及推進のため、現地見学ツアーの開催、サロベツ・エコモー・プロジェクトの推進、各種イベントの企画・運営などを行いました。 自然再生協議会の事務局業務を分担しました。 サロベツ湿原センター及び幌延ビジターセンターで大学生を受け入れ、館内解説、木道ガイド、施設管理業務を実施してもらいました。
	サロベツ湿原センター 水質浄化湿地管理	サロベツ湿原センター敷地内にある水質浄化湿地を定期的に見回り、適切に機能しているかどうか点検作業を行いました。
	稚咲内トイレ清掃	海岸線を車でドライブする観光客の方などが快適に利用できるよう、稚咲内トイレの清掃作業を行いました。
その他事業	物販	湿原センター・周辺観光施設・通信販売等でサロベツに関する商品を販売し、新商品を開発しました。
	レンタル	スノーシュー、長靴など、サロベツの自然を楽しんでもらうために必要な道具の貸し出しを行いました。
	ガイド等活動	サロベツを訪れた方を対象に自然の魅力を伝える有料ガイド事業を行いました。
	募金・寄付金	サロベツの自然の保全活動や環境教育活動の支援を呼びかける募金箱を設置し、寄付を募りました。

令和3年度　貸借対照表

令和4年　3月31日現在

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

科　　目　・　摘　　要	金　　額　（単位:円）		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
現金	46,270		
普通預金	11,414,364		
定期預金	6,010,442		
売掛金	5,260		
未収会費	23,000		
未 収 金	15,276,461		
商　　品	691,854		
前払費用	1,720		
流動資産合計		**33,469,371**	
2　固定資産			
車両運搬具	625,354		
什器備品	85,540		
固定資産合計		**710,894**	
投資その他の資産			
3　特定用途固定資産			
土地	107,550	**107,550**	
資産合計			**34,287,815**
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	2,107,426		
預かり金	101,145		
未払法人税等	860,400		
前受金	11,000		
未払消費税	1,033,000		
流動負債合計		**4,112,971**	
2　固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		**0**	
負債合計			**4,112,971**
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		29,131,533	
サロベツ野生生物基金		65,300	
当期正味財産増減額		978,011	
正味財産合計			**30,174,844**
負債及び正味財産合計			**34,287,815**

令和3年度　財産目録

令和4年　3月31日現在

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

科　目　・　摘　要		金　額　(単位:円)		
Ⅰ　資産の部				
1　流動資産				
現金預金				
現金	現金手許有高	46,270		
普通預金	稚内信用金庫豊富支店	8,332,623		
	稚内信用金庫豊富支店(物販)	132,252		
	稚内信用金庫豊富支店(国立公園)	2,014,723		
	豊富郵便局	934,766		
定期預金	稚内信用金庫豊富支店	6,010,442		
売掛金		5,260		
未収会費	会費	23,000		
未 収 金	環境省ほか	15,276,461		
商　品		691,854		
前払費用		1,720		
流動資産合計			33,469,371	
2　固定資産				
車両運搬具		625,354		
什器備品	カヌー本体一式　1艇	85,540		
固定資産合計			710,894	
投資その他の資産				
3　特定用途固定資産				
土地	2筆	107,550	107,550	
資産合計				34,287,815
Ⅱ　負債の部				
1　流動負債				
未払金		2,107,426		
預かり金		101,145		
未払法人税等		860,400		
前受金		11,000		
未払消費税		1,033,000		
流動負債合計			4,112,971	
2　固定負債				
長期借入金		0		
固定負債合計			0	
負債合計				4,112,971
Ⅲ　正味財産の部				
前期繰越正味財産			29,131,533	
サロベツ野生生物基金			65,300	
当期正味財産増減額			978,011	
正味財産合計				30,174,844
負債及び正味財産合計				34,287,815

令和3年度　活動計算書

令和3年　4月1日から　令和4年　3月31日まで

認定特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

科　　目	金　　額　（単位:円）		
	金　　額　（単位:円）		合計
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
・　正会員受取会費(68名)	183,000		
・　賛助会員受取会費(53口)	250,000		
・　サポート会員受取会費(108口)	133,000		
・　なまサロ受取会費(19名)	60,000		
・　行事会費	60,000		
受取会費計		686,000	
2　事業収益			
・　事業収益	40,762,301		
・　他事業収益(物販・販売手数料・レンタル・原稿料合計)	1,305,945		
・　講師・ガイド等収益	417,920		
事業収益計		42,486,166	
3　寄付金収益			
・　寄付金計	205,398	205,398	
4　その他収益			
・　受取利息	209		
・　雑収入	94,205		
その他収益計		94,414	
経常収益計			43,471,978
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)　人件費			
・　給料手当	20,974,127		
・　役員報酬	430,640		
・　アルバイト給料手当	2,543,248		
・　法定福利費	3,055,305		
・　福利厚生費	779,805		
人件費計		27,783,125	
(2)　その他経費			
・　広告宣伝費	436,566		
・　旅費交通費	335,206		
・　通信費	173,850		
・　修繕費	35,200		
・　材料費	207,720		
・　新聞費	74,400		
・　燃料費	339,060		
・　保険料	28,754		
・　租税公課	3,051,000		
・　手数料	111,447		
・　委託料	968,000		
・　賃借料	144,414		
・　車輌借上料	13,480		
・　リース料	194,745		
・　備品消耗品費	1,123,659		
・　謝金	2,316,700		
・　諸会費	6,500		
・　雑費	115,242		
・　減価償却費	663,239		
その他経費計		10,339,182	
売上原価計	719,435	719,435	
事業費計			38,841,742

2 管理費			
・ 車両借上料	26,520		
・ 広告宣伝費	3,150		
・ 通信費	89,150		
・ 家賃･地代	124,908		
・ 光熱水道費	28,560		
・ 備品消耗品費	76,035		
・ 修繕費	100,199		
・ 接待交際費	30,000		
・ 会議費	6,900		
・ 保険料	183,467		
・ 諸会費	38,500		
・ 支払手数料	23,202		
・ 車両管理費	248,394		
・ 租税公課	79,900		
・ リース料	16,940		
・ 雑費	1,716,000		
管理費計		2,791,825	2,791,825
経常費用計			41,633,567
当期経常増減額			1,838,411
・ 法人税等充当金	860,400		
当期正味財産増減額			978,011
前期繰越正味財産額			29,131,533
次期繰越正味財産額			30,109,544

令和４年 ５月28日

監査報告書

令和４年５月 28日、代表理事から提出された令和４年度事業報告及び活動計算書、貸借対照表及び財産目録等を監査した結果、その内容は適正であると認める。

監事　金子　敬博　

阿部　　守　

議案第２号

令和４年度事業計画（案）及び活動予算（案）について

令和４年度事業計画（案）及び活動予算（案）について
別紙の通り提案致します。

令和4年度NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク活動予定日程一覧（抜粋）

（令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで）

4月8日	海岸清掃
4月15日	ペンケ沼ガンカモ調査
4月16日	ペンケ沼水質調査・サンカノゴイ音声ロガー設置
4月19日	チュウヒ調査
4月22日	ペンケ沼タンチョウ調査
4月23日	なまら‼サロベツ∞クラブ・春の渡り鳥観察会
4月25日	猿払ガンカモ調査
4月29日	大沼タンチョウ調査
5月11日	砂丘林再生・植栽地管理（10月まで）
5月16日	クリーン作戦
5月17日	サンカノゴイ調査
5月18日	チュウヒ調査
5月22日	自然公園新緑ツアー
5月23日	オオジシギ調査
5月28日	理事会
5月31日	総会
6月	湿原センター木道ガイド
6月	自然再生業務・木道維持管理業務(10月まで)
6月	海岸清掃業務(10月まで)
6月	外来種除去業務(11月まで)
6月	緩衝帯調査
6月	シマアオジ子供活動
6月	フラワーソン植物調査
6月	バックヤードツアー
6月	湿原センター木道ガイド（温泉活性化）
6月	緩衝帯モニタリング調査開始
7月	自然再生業務・ボランティア活動外来種除去
7月	高校サブレン受け入れ開始
7月	郷土資料整理資料作業
7月	なまら‼サロベツ∞クラブ・空から湿原を見よう
7月	砂丘林再生検討委員会

8月	コウホネ沼コウホネ移植作業
8月	大学サブレン受け入れ開始
8月	なまら‼サロベツ∞クラブ・兜沼宿泊観察会
8月	自然再生業務・ボランティア活動ササ刈り
9月	郷土資料整理資料作業
9月	エコモーDay
9月	なまら‼サロベツ∞クラブ・ペンケ沼ゴミ清掃
9月	自然再生業務・ボランティア活動ヤナギ刈り
10月	ガンカモツアー（温泉活性化）
10月	なまら‼サロベツ∞クラブ・砂丘林の水鳥観察
10月	どんグリーンの森づくり・検討委員会
11月	鳥学会タンチョウ調査発表
11月	砂丘林再生検討委員会
11月	e-水プロジェクト子供活動報告会
12月	エコモー交流会
1月	ペンケ沼報告会
2月	温泉スノーシューツアー（温泉活性化）
2月	タンチョウ報告会

令和4年度　事業計画書(令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで)

特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

事業分類	事業名	事業内容
自然再生	稚咲内砂丘林 再生(町有林)	国立公園特別保護地区内において、ミズナラの森林(町有林)再生に向け、地域の方と一緒に苗畑の除草などの日常的な維持管理作業や、秋に植樹イベントを実施し、苗木の植樹作業を行います。
	稚咲内海岸清掃	春から夏に稚咲内海岸草原に大量に飛散している漂着ゴミを回収し、国立公園の美化に貢献します。
	外来植物防除対策	国立公園内のオオハンゴンソウ(特定外来生物)などの外来種除去作業や周辺に広がっていないかどうか巡視を行います。特に稚咲内砂丘林縁部で発見された大群落の除去に集中的に取り組みます。
	稚咲内砂丘林 再生(国有林)	国有林においてミズナラ苗木植栽地の造成及び植樹活動、また林内の調査地においてエゾシカによる食害被害の調査及び木々の生育調査を行います。
	コウホネ沼 保全対策業務	ネムロコウホネの定着状況について調査を行い、その状況に応じて再移植等の保全対策の検討、有識者ヒアリングを実施します。
	サロベツ湿原緩衝帯 モニタリング	2022年度と同様にドローンを使用した上空からのサロベツ湿原緩衝帯の状況調査を実施します。
動植物調査	チュウヒ 調査・普及啓発 (日本野鳥の会)	稚内市から天塩町にかけてのチュウヒの繁殖状況を調査し、開発事業者に情報提供を行い、チュウヒの保護区に向けて土地が購入可能か調査します。
	チュウヒ調査 普及啓発 (環境省)	サロベツの国立公園とその周辺でででチュウヒの営巣地を含めた生息状況を把握します。
	シマアオジ 分布調査 (環境省)	シマアオジの生息地の繁殖状況調査、生息環境改善のために繁殖地に侵入したササの試験的除去を行います。豊富の子供たちを対象にシマアオジの観察会を実施し、シマアオジの状況を伝えることでシマアオジ保全の重要性を理解してもらいます。
	シマアオジ 分布調査 (日本野鳥の会)	シマアオジの生息地の繁殖状況調査、シマアオジ野鳥保護区における鳥類の生息状況を把握します。
	タンチョウ調査 (環境省)	サロベツ湿原においてドローンを用いたタンチョウ繁殖状況を調査し、同湿原内におけるタンチョウの繁殖状況を把握します。
	タンチョウ調査 (助成金)	北海道宗谷地方全域でドローンを使用し繁殖状況の調査を行います。秋に捕獲し、足環、発信機を装着し、渡り経路を把握します。成果を日本鳥学会で発表します。冬には講師2名により勉強会を開催します。
	ガンカモ調査	兜沼、ペンケ沼、振老沼(天塩町)で、ねぐら調査を春と秋に行い、種と個体数を数えます。
	ペンケ沼調査	ペンケ沼において水鳥・水質・ゴミ調査を実施することにより、ペンケ沼の実態を把握し、保全対策を実施するに当たっての基礎資料とします。
	風力発電対応	周辺で計画されている風力発電計画に関する環境影響図書に対して景観や動植物への影響に関する意見書の作成、協議会の参加、情報収集・発信を行います。

事業分類	事業名	事業内容
環境教育	高校生 サブレンジャー	サロベツ湿原センターを拠点として、国立公園利用者に対する自然解説や利用マナーの普及啓発、展示物製作、サロベツにおける動植物等自然情報の収集及び保全活動を行い、国立公園の適切な管理と利用推進を図ると共に、次世代の環境保全の担い手を育成することを目的として実施します。
	なまら サロベツクラブ	地域との交流を通して、人・地域・自然を愛する心を養い、サロベツはもとより幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーの育成を目指すことを目的に地域の子ども達を対象に、四季を通じてサロベツの自然を体験する活動を行います。
	インターンシップ等	サロベツにインターンシップ等で来る学生を受け入れます。
地域活性化	豊富町郷土資料室 資料整理	2022年度は、引き続き豊富町内の郷土資料の整理を実施し、郷土資料室の展示解説等の作成を行います。
	豊富温泉活性化	湯治客や一般向けの定期体験プログラム4回実施します。
施設維持管理等	サロベツ湿原センター管理 運営・案内解説	サロベツ湿原センターの施設管理作業（館内清掃・展示物作成・施錠等）や、サロベツ湿原センターを訪れた方にサロベツ地域の自然情報提供、周辺の観光案内などを行います。
	サロベツ湿原センター 木道維持管理 自然再生協議会 普及活動推進 大学生サブレンジャー	国立公園内の木道の破損箇所の補修等を行い、維持管理をします。 自然再生の普及推進のため、現地見学ツアーの開催、サロベツ・エコモー・プロジェクトの推進、各種イベントの企画・運営などを行います。 自然再生協議会の事務局メとして、事務局業務を分担します。 サロベツ湿原センター及び幌延ビジターセンターで大学生を受け入れ、館内解説、木道ガイド、施設管理業務を実施してもらいます。
	稚咲内トイレ清掃	海岸線を車でドライブする観光客の方などが快適に利用できるよう、稚咲内トイレの清掃作業を行います。
	サロベツ湿原センター 水質浄化湿地管理	サロベツ湿原センター敷地内にある水質浄化湿地を定期的に見回り、適切に機能しているかどうか点検作業を行います。
ガイド	ガイド等活動	サロベツを訪れた方を対象に自然の魅力を伝える有料ガイド事業を行います。
その他事業	物販	湿原センター・周辺観光施設・通信販売等でサロベツに関する商品を販売し、新商品を開発します。
	レンタル	スノーシュー、長靴など、サロベツの自然を楽しんでもらうために必要な道具の貸し出します。

令和4年度　活動予算書
令和4年　4月1日から　令和5年　3月31日まで
認定特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク

科　　目	金　　額　（単位:円）		
	金　　額	（単位:円）	合計
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
・ 正会員受取会費(66名)	198,000		
・ 賛助会員受取会費(35口)	175,000		
・ サポート会員受取会費(125口)	115,000		
・ なまサロ受取会費(24名)	60,000		
・ 行事会費	50,000		
受取会費計		598,000	
2　事業収益			
・ 事業収益	35,600,000		
・ 他事業収益(物販等)	1,500,000		
事業収益計		37,100,000	
3　寄付金収益			
・ 寄付金計	280,000	280,000	
4　その他収益			
・ 受取利息	500		
・ 雑収入	200,000		
その他収益計		200,500	
経常収益合計			38,178,500
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)　人件費			
・ 役員報酬	600,000		
・ 給料手当	22,000,000		
・ アルバイト給料手当	1,400,000		
・ 法定福利費	3,000,000		
・ 福利厚生費	800,000		
人件費計		27,800,000	
(2)　その他経費			
・ 広告宣伝費	400,000		
・ 事務用品費	90,000		
・ 旅費交通費	90,000		
・ 通信費	60,000		
・ 荷造運賃	80,000		
・ 修繕費	170,000		
・ 材料費	190,000		
・ 新聞費	71,400		
・ 燃料費	330,000		
・ 保険料	60,000		
・ 租税公課	1,000,000		
・ 手数料	34,000		
・ 委託料	1,200,000		
・ 賃借料	130,000		
・ 車輌借上料	50,000		
・ リース料	180,000		
・ 備品消耗品費	1,830,000		
・ 接待交際費	60,000		
・ 謝金	1,400,000		
・ 諸会費	6,500		
・ 研修費	40,000		
・ 雑費	200,341		
・ 減価償却費	150,000		
その他経費計		7,822,241	
売上原価	582,530	582,530	
事業費計			36,204,771

2 管理費			
(1) 人件費			
・ 福利厚生費	50,000		
人件費計		50,000	
(2) その他経費			
・ 車両借上料	55,000		
・ 広告宣伝費	18,000		
・ 旅費交通費	30,000		
・ 通信費	130,000		
・ 家賃･地代	120,000		
・ 光熱水道費	100,000		
・ 事務用品費	7,000		
・ 備品消耗品費	33,000		
・ 修繕費	160,000		
・ 接待交際費	27,000		
・ 会議費	26,000		
・ 保険料	190,000		
・ 諸会費	42,000		
・ 支払手数料	73,000		
・ 車両管理費	400,000		
・ 慶弔費	30,000		
・ 租税公課	110,000		
・ 謝金	150,000		
・ 雑費	187,729		
・ 貸倒損失	20,000		
・ 寄付金	15,000		
その他経費計		1,923,729	
管理費計			1,973,729
経常費用計			38,178,500
当期経常増減額			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			30,109,544
次期繰越正味財産額			30,109,544

議案第 3 号

その他について